

伸縮式突っ張りポール&テレビ取付け用金具セット

『エアーポール』

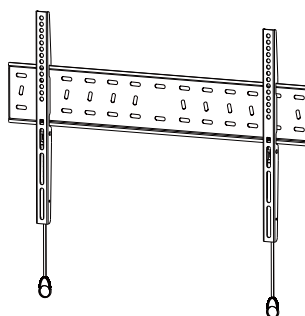
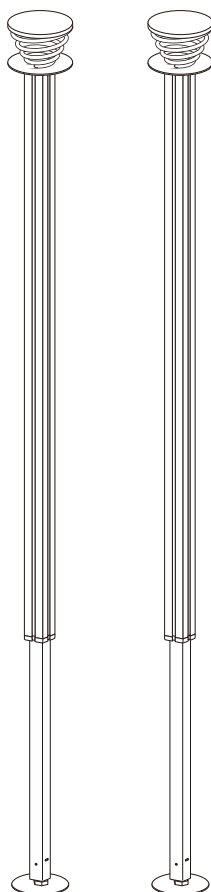
使用・取付け説明書

取付け対応商品：AP-141, AP-148

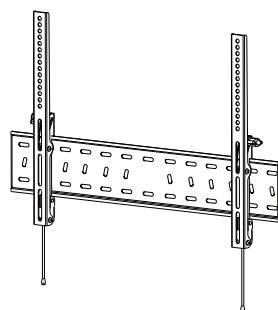
伸縮範囲：2.0m ～ 2.8m ポール耐荷重：50kg

安全想定使用年数：目安として約3～5年

(使用環境により前後する場合があります)



AP-141



AP-148

この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。

**警告**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。



行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

本説明書は、テレビ取付け金具の種類に応じた複数の取付け方法を記載しています。
適切な箇所をよくお読みのうえお取付けください。

※本商品の取り付けは一人での作業が非常に困難なため、必ず二人以上で行ってください。

※エアーキャップには鋭利な部分がありますので、取り扱いの際は十分にご注意ください。

特に取り付け作業時には、怪我をしないよう十分にお気をつけください。

※万が一、部品の不足や不良品がございましたら、お手数ですが速やかに弊社までご連絡ください。



警告



本説明書が無視した組み立て・設置、不適切な取り付け、強度不足、また本来の用途以外でのご使用や、地震などの天災による事故・破損については、弊社では一切の責任を負いかねます。



突っ張りポールの耐荷重は 50kg です。これを超える重量の物を掛けたり、意図的に強い衝撃を加えたりしないでください。突っ張りポールが外れ、製品の破損や思わぬ事故・怪我につながる恐れがあります。



突っ張りポールとは別に、テレビ取付け金具にもそれぞれ耐荷重の制限があります。指定された耐荷重を超えるテレビを取り付けたり、意図的に強い衝撃を与えたりしないでください。テレビ取付け金具が外れ、製品の破損や思わぬ事故・怪我につながる恐れがあります。



薄いボードやベニヤ板等、強度が確保できない場所や滑りやすい所への取付けは、取付け箇所が破損したり、突っ張りポールが外れる恐れがありますのでおやめください。



火気、熱を発するものの近くには設置しないでください。熱で変形したり破損する恐れがあり、火災の原因となる可能性もあります。



ボルトの径や深さが適合していないものを使用しての取り付けは行わないでください。不適切なボルトを使用すると、テレビの破損や落下の原因となる恐れがあります。



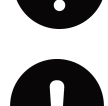
本商品の分解・改造及び部品の改造は絶対にしないでください。



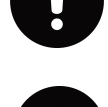
テレビを取り付けたままの状態、突っ張りポールを移動または取り外すことは絶対にしないでください。必ず、最初にテレビをテレビ取付け金具から取り外し、その後テレビ取付け金具をアタッチメントから外してから、突っ張りポールの移動・取り外しを行ってください。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、テレビの落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。



アタッチメントおよびテレビ壁掛け金具を取り付ける際は、ボルトなどの締め付けを確実に行ってください。締め付けが不十分な場合、アタッチメントやテレビ取付け金具が外れて落下し、破損や怪我の原因となる恐れがあります。



本商品は強力に突っ張って取付けを行います。エアーキャップを使用しない場合は、天井の真裏に梁が通っている箇所や、鉄筋コンクリートなどのしっかりとした天井下地や補強のある場所に取り付けてください。また、エアーキャップを使用する場合でも、設置場所によっては天井が浮いたり破損する恐れがありますので十分に注意して取り付けを行ってください。



取付けは、必ず垂直になるように固定してください。



金具自体の不備や不具合につきましては対応いたしますが、お客様の設置場所の構造や強度については弊社では責任を負いかねます。

お客様ご自身で強度を十分にご確認の上、自己責任にて設置をお願いいたします。

警告



次の場所には、設置をしないでください。

- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

注意



各テレビ取付け金具には、対応するテレビの条件が定められています。お取付け予定のテレビ取付け金具の対応テレビ条件を必ずご確認ください。
対応していないテレビには取り付けできませんのでご注意ください。



畳や絨毯の上に取付けた場合、取り外した際に取付け跡が残ります。また、長期間で使用になるとフローリングにも跡が残る場合があります。
これらの跡に関する問題については、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。



エアーキャップを使用した際に生じる設置穴や設置跡について、原状復帰（原状回復）の不要を保証するものではありません。取付け場所の材質や設置年数、または管理会社の判断等により、原状復帰が求められる場合がございます。その際に発生する修繕費用などにつきましては、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



金具の種類やテレビの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。



設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようにご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。



付属している部品は基本的な取付けボルト類になります。付属部品がお手持ちのテレビの金具取付けネジ穴に合わない場合は別途適切なボルト類をご用意ください。
また、テレビの金具取付けネジ穴の径や深さに関するご不明点は各メーカーへお問い合わせください。

取付けを始める前にもう一度チェック！

- ☒ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いか。
- ☒ 部品に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。

ご用意いただく工具

- ☒ ドライバー

あると便利な工具・道具

- ☒ 水平器（水平器はあくまで目安としてください。実際の水平は、金具の左右を床からの同距離で計測することで計った方が正確に取れます。理由としては通常のお住まいでもある程度、数度の傾きはあるからです。）
- ☒ メジャー（設置個所の計測、水平・垂直の計測に使用します）
- ☒ 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- ☒ マスキングテープ（水平目安の為にすると便利です）

テレビ取付け金具の種類によって、設置手順や方法が異なります。
必ずご購入いただいた商品の取付け金具に関する説明ページをご確認のうえ、
正しい手順で設置を行ってください。

目次

表紙・設置に関してのご注意・・・P.1～2
共通部品一覧・・・P.3
各部名称・・・P.4

【ポール設置方法】
エアーキャップを使用して設置する場合・・・P.5～8
エアーキャップを使用せずに設置する場合・・・P.9～11
突っ張りポール伸縮調整方法・取外し方法・・・P.12～13

【テレビ取付け金具を突っ張りポールに設置する方法】
AP-141・・・P.14～17
AP-148・・・P.18～21
最終確認・・・P.22

共通部品一覧

※金具・部品の使用や形状は実際とは多少異なる場合がございます。
こちらは付属の共通部品一覧です。
その他の部品はテレビ取付け金具の種類によって異なりますので、ご購入商品の設置説明ページ(P.14～P.21)をご確認ください。

アタッチメント用部品



aa. アタッチメント…2 個



bb. コマ…4 個



cc. アタッチメント取付け用
皿ネジ…4 個
(滑り止め加工を施しています)

金具取付け用部品



dd. 金具取付け用ネジ…4 個



ee. ワッシャー…4 個



ff. スプリングワッシャー
…4 個

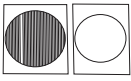
突っ張りポール本体に取付ける・使用する部品



gg. 突っ張りポール本体…2 本



hh. エアーキャップ…2 個
(天井部取付け)
※エアーキャップを取り出す際は
怪我をしないようお気をつけください



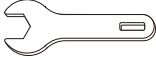
ii. 特殊面ファスナー…2 セット
(床部取付け・予備あり)



jj. 高さ調節ボルト目安テープ…4 枚
(設置時の目印用テープです)



kk. 回転止め…4 個



ll. スパナ…2 本
(高さ調整ボルト
の調整時使用)

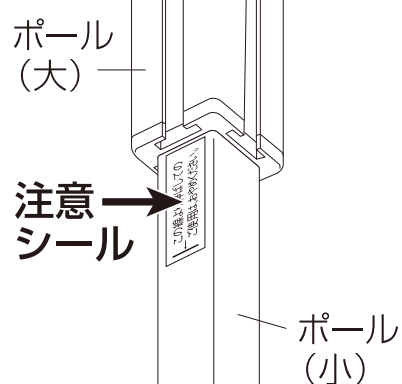
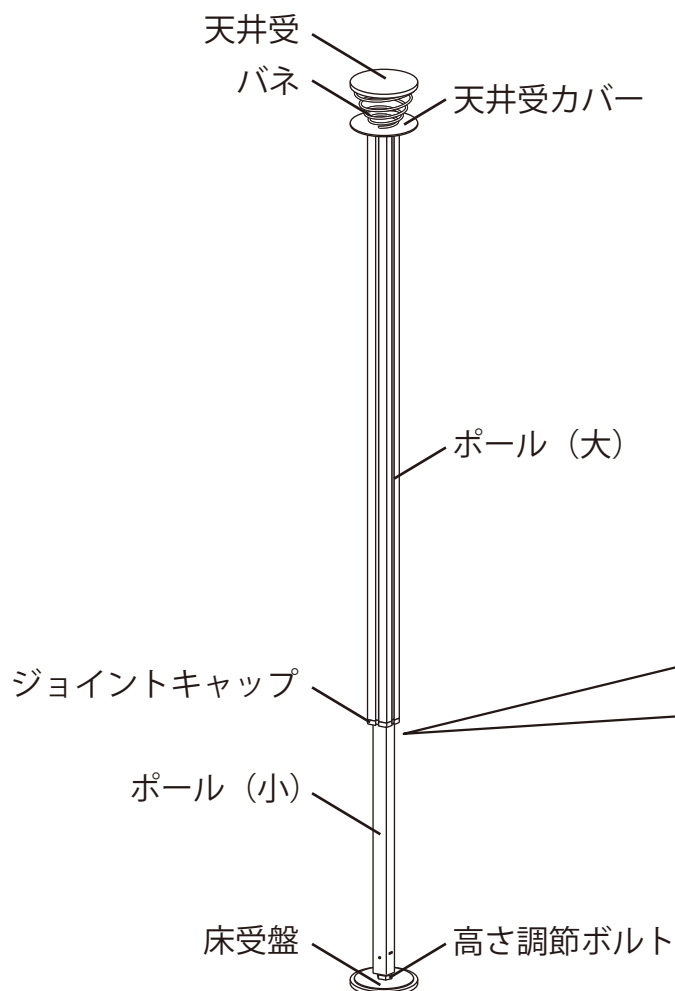
各部名称



注意

- 取付け手順はしっかりと守ってください。
- 人や物にぶつからないよう、周りには十分に注意して取付け作業を行ってください。
- ポール（大）とポール（小）の内部にはコマという小さな部品が入っています。ポールの長さを調節する際はポールの伸ばしすぎに十分ご注意ください。ポール同士が外れ、コマが抜け落ち紛失の恐れがあります。

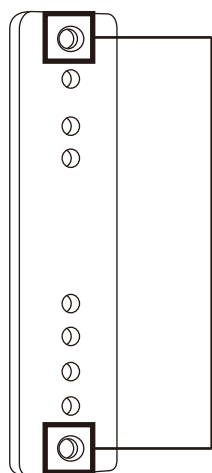
■突っ張りポール本体 各部の名称



⚠ 注意

注意シール以上引き出すとポール（小）が外れますので注意シール以上は、引き出さないでください。

■アタッチメント取付け時の使用ネジ穴



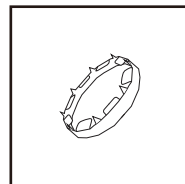
両端の穴を使用

ポール設置方法【エアーキャップを使用して設置する場合】①

この項ではエアーキャップを使用する取付け設置方法です。エアーキャップを使用せずに取付けを行う場合は P.9に記載している手順で設置を行ってください。

エアーキャップ

- ・突っ張りポールの天井部分に取付ける鋭利な歯形状の部材。
- ・天井が石膏ボード+壁紙などの場合にご使用できます。
(木材、コンクリートなどの天井材にはご使用できませんのでご注意ください)

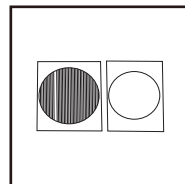


特殊面ファスナー (マジックテープのオスとメス)

- ・床面がフローリングや大理石など、テープが張り付けられる部材の場合にご使用できます。
- ・畳や絨毯などのテープが張り付けられない所にはご使用できません。

※本特殊面ファスナーはとても強力に固定されます。

※一度取付けると取外しには大きな力が必要です。取り外し後の面ファスナーは粘着力が弱くなり、再利用できなくなりますのでご注意ください。

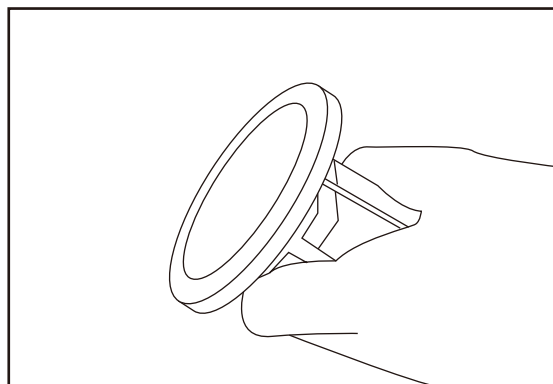


警告

- 作業を行う前に、エアーキャップを付けない状態で位置の調節など確認作業を行ってください。エアーキャップが天井にしっかりと刺さってしまうと移動や調整が困難になります。
- エアーキャップの天井受盤に取付ける部品は鋭利な部分がございます。突っ張りポールをむやみに振り回さず、取扱いには十分ご注意ください。
- エアーキャップを使用して設置を行う場合には、周りに注意し、特に小さいお子様には触れさせない様にしてください。怪我をする恐れがあります。
- 取付けは、必ず垂直になるように固定してください。
- 取付け手順はしっかりと守ってください。人や物にぶつからない様、周りには十分に注意して取付け作業を行ってください。
- ボードやベニヤ等、弱い所や滑りやすい所への取付けは本体が外れたり破損する恐れがありますのでおやめください。
- 畳や絨毯の上に設置した場合、外した際に設置跡が残ります。また、長期使用によってフローリングにも跡が残る場合がございます。

【1. 特殊面ファスナー（オス側）を貼り付ける】

床受盤の裏側に▼特殊面ファスナー (ii) のザラザラした方（円が小さいほう）を貼り付けてください。その際、床受盤のゴムを一度乾いた布等で綺麗に拭き、ゴミ等を落としてください。



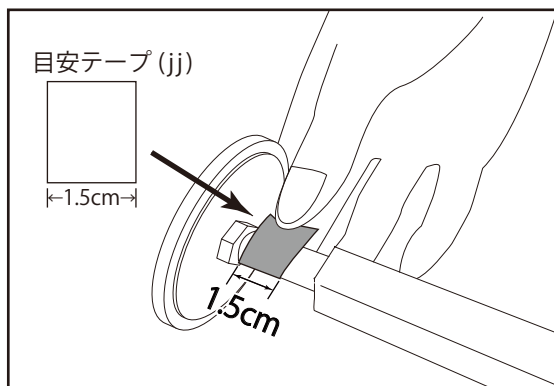
【2. 床受盤を回し、高さ調節ボルト目安テープを貼る】

※必ずこの作業を行ってください

この作業は、最後にこの部分を締めつけて固定をする為、余裕がないと取外しが困難になるため行います。

右図のように床受盤を回し、高さ調節ボルトの上側の部分を出してください。▼高さ調節ボルト目安テープ (jj) の 1.5cm 幅の部分

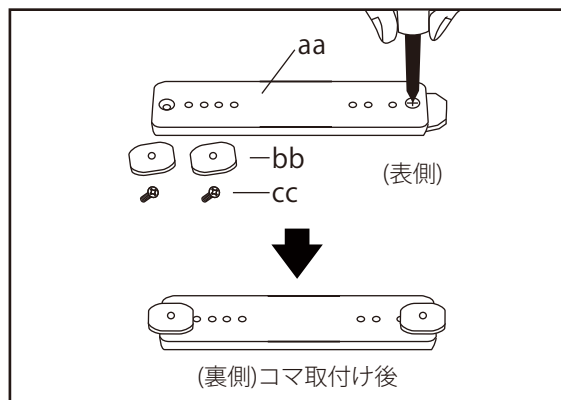
右図の向きで貼り、そのテープが見える程度に出しておいてください。



ポール設置方法【エアーキャップを使用して設置する場合】②

【3. アタッチメントを突っ張りポールに設置するためのコマをセットする】

▼アタッチメント取付け用皿ネジ (cc) を使用して▼アタッチメント (aa) にコマ (bb) を2点取付けてください。その際、アタッチメントの裏表とネジの取付け穴位置に注意してください。コマを取付ける2点のネジ穴が窪んでいる方が表です。また、次の作業でポールに取付ける為、コマとアタッチメントの間は隙間を空けてください。

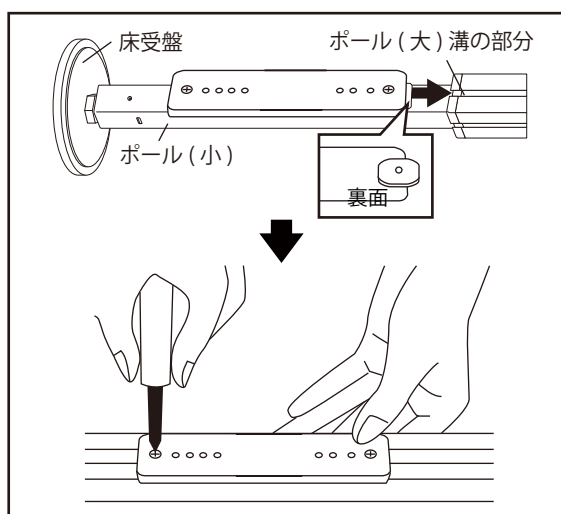


【4. 突っ張りポールにアタッチメントをスライドさせて仮止めする】

右図のように▼突っ張りポール (gg) を平らな場所に寝かせ、ポール (小) を30cm程伸ばし前の説明で取付けた▼コマ (bb) をポール (大) の溝の部分にスライドさせるように入れてください。ポールを立てた際に落ちないように、適当な部分で仮止めを行ってください。

1本目のアタッチメントを仮止めした後、2本目も1本目と同じ高さに合わせて仮止めしてください。

※コマを縦向きにしないと入らないのでご注意ください。



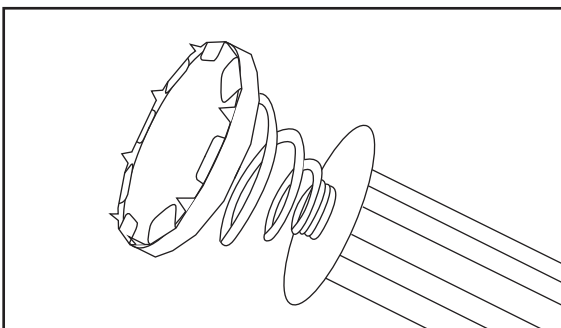
【5. エアーキャップを取付ける】

仮止めを行う前に、▼エアーキャップ (hh) を天井受盤に取付けます。奥までしっかりとはめてください。



注意

- エアーキャップは表面に鋭利な部分がありますので、取付け時は十分に注意してください。
- エアーキャップを取付けたまま移動やポールの長さ調節をする際は周りに人がいないか確認を忘れないでください。



【6. ポールを仮止めする】

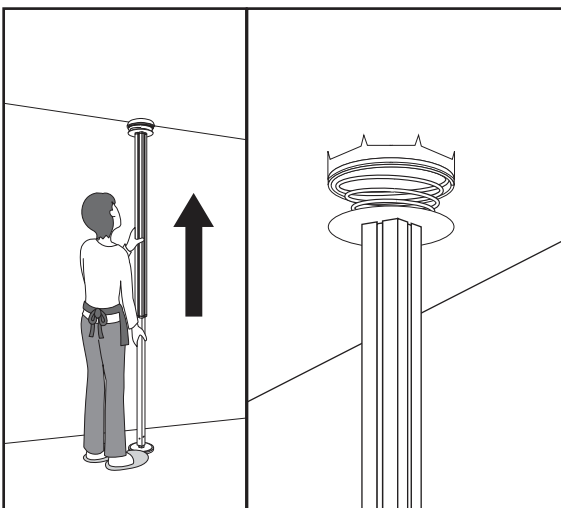
取付けを行いたい場所を決め、ポールを上へ伸ばして仮止めをします。

その際、天井受盤のエアーキャップの先端が少し刺さる程度の仮止めにして下さい。深く差し過ぎるとエアーキャップが固定され、位置の調整が困難になります。

エアーキャップが天井に取付いてしまった場合、天井から外して再度天井受盤に取付けを行って下さい。

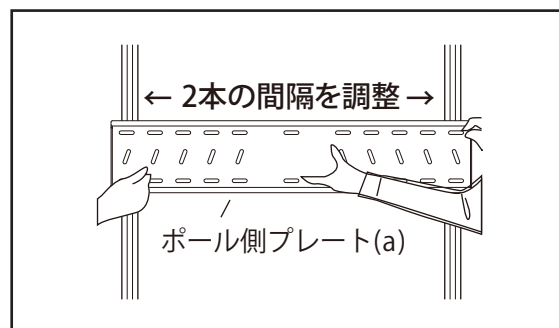
2本目の仮止め作業を行う前に、【7】の作業を行ってください。

※ポールを伸ばした際にポール (小) の部分が出過ぎた場合や、外れてしまった場合は P.12 「突っ張りポール伸縮調整方法」を参照して下さい。



【7. 2本の間隔を調整する】

2本目の仮止め作業を行う前に、金具本体部品の▼ポール側プレート(a)を使用して取付け時にネジ穴の位置が左右対称になるように間隔を調整してください。
特に設置場所の制限などの理由がない限り、ポール側プレートの両端付近のネジ穴を使用してください。ある程度正確な位置が確認できたら、目印を付けます。



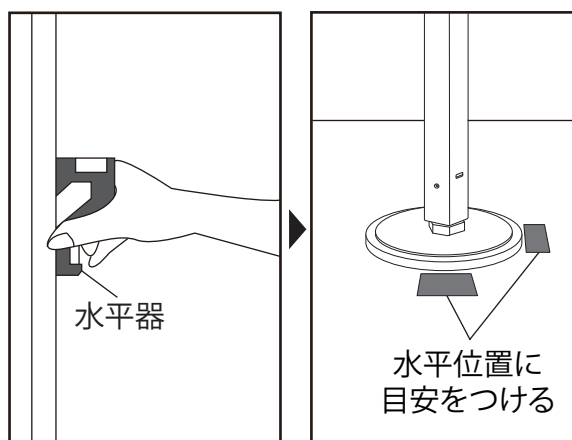
【8. 水平をとる】

仮止めを行った後、全体を確認しながら水平をとってください。図の様に水平器があると便利です。
水平が取れたら、▼特殊面ファスナー (ii) の受け側を床に張り付ける為、水平位置にテープ等で目印を付けて下さい。



注意

- 突っ張りポールには伸縮防止機能がついていますが、ポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまいます。水平をとる場合や位置を調節する際は必ずポール（小）の部分を持って移動するようにしてください。



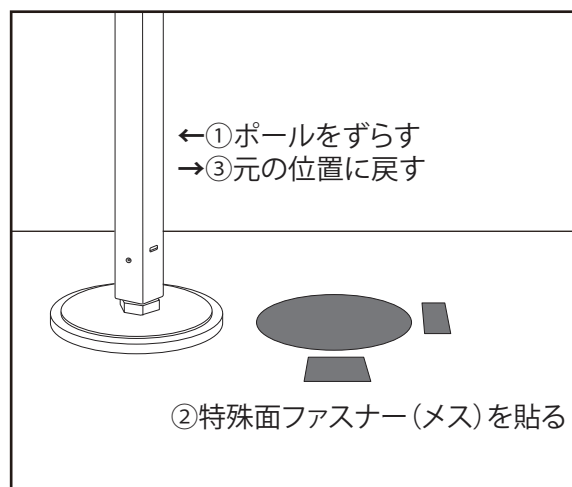
【9. 特殊面ファスナー（メス側）を貼り付ける】

- ① ポールの下部を少しずらし、
- ② 目印を付けた場所に▼特殊面ファスナー (ii) のメス側（円が大きい方）を張り付けます。
- ③ 張り付けたらポールを元の位置に戻してください。天井受盤部がずれない様に注意して下さい。



注意

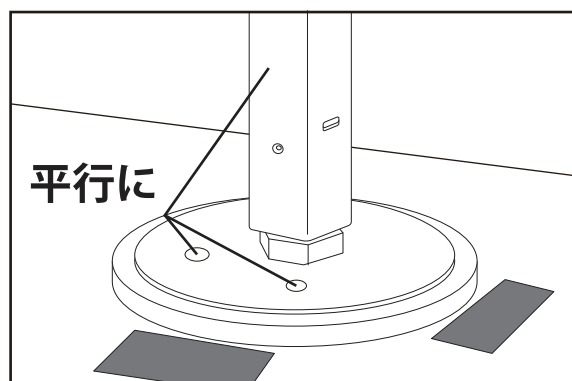
- 突っ張りポールには伸縮防止機能がついていますが、ポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまいます。水平をとる場合や位置を調節する際は必ずポール（小）の部分を持って移動するようにしてください。



【10. 平行を調節する】

ポールの面と床受盤の穴2点が平行になるように調節して下さい。平行ではない場合、最後に固定する回転止めがしっかりと合まらない場合がございます。

※1本目、2本目とも同じ方向（正面）にアタッチメント取付け面が向くようにしてください。



ポール設置方法【エアーキャップを使用して設置する場合】④

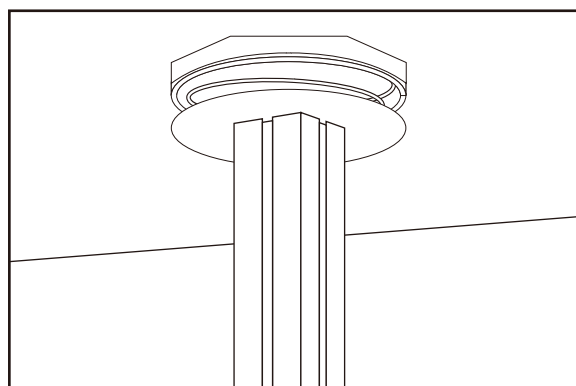
【1 1. 天井面を固定する】

前の説明で行った作業をもう一度確認し、2本の間隔に関しても問題が無ければ2本目も設置します。
右図の様に少しバネが見える程度まで天井に押しつけてください。



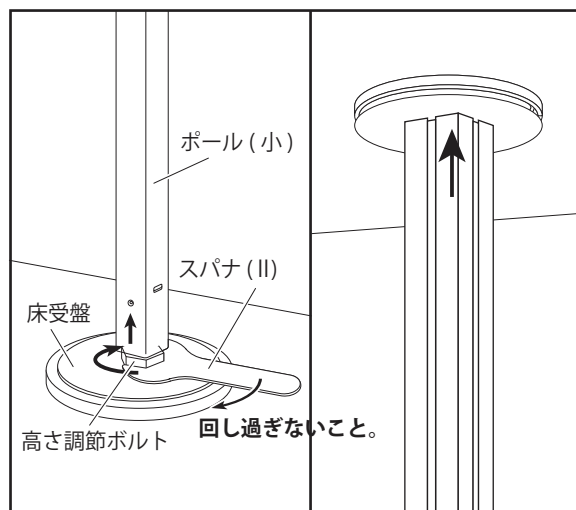
注意

- 必要以上に力を加えると天井が破損する原因になりますので注意してください。



【1 2. 床面を固定する】

十分に押し込んだら、▼スパナ (II) で高さ調節ボルトを回して固定して下さい。右回りでポールが上に伸びます。
右図の様にバネがほとんど見えなくなったら固定されています。



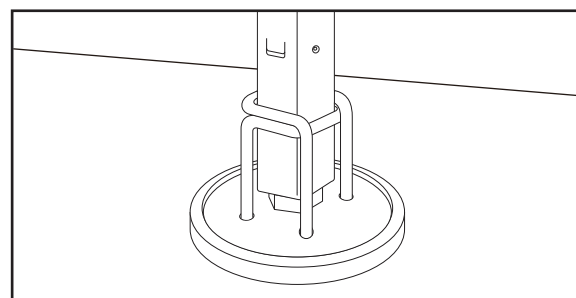
注意

- 高さ調節ボルトをスパナで回し過ぎると天井や床が破損したりボルトがなめてしまう可能性があります。バネが天井受盤と天井受カバーの間に隠れる程度(2~3回転)で止めてください。
- 取付け後は、手で軽く引っ張りしっかり固定されていることを必ず確認してください。

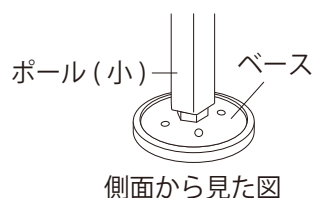
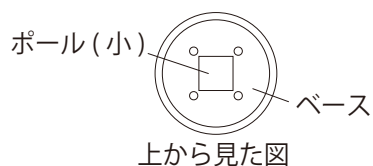
【1 3. 回転止めを取付ける】

最後に、▼回転止め (kk) を取付けてポールが回転するのを防ぎます。

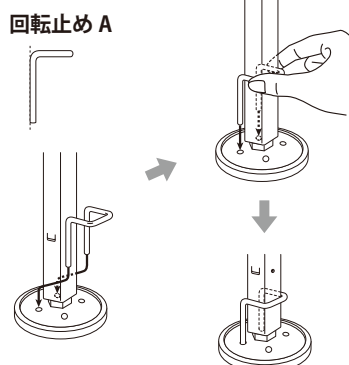
※この付属品は製品本体の回転を抑止するものであって完全に回転は止められませんのでご注意ください。



①ベースの穴4か所がポール(小)の角になる位置でポールを取付けします。

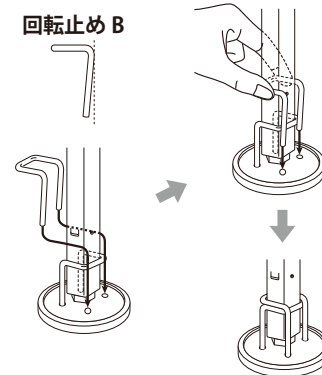


②回転止め A をポール(小)の手前から差込んでベースの穴に入れます。



※しっかり奥まで入っているか確認します。

③回転止め B をポール(小)の手前から差込んでベースの穴に入れます。



※しっかり奥まで入っているか確認します。

ポール設置方法【エアーキャップを使用せずに設置する場合】①

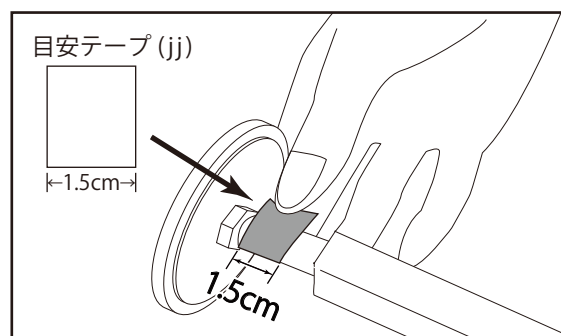
この項ではエアーキャップを使用しない取付け設置方法です。エアーキャップを使用して取付けを行う場合は P.5 に記載している手順で設置を行ってください。

【1. 床受盤を回し、高さ調節ボルト目安テープを貼る】

※必ずこの作業を行ってください

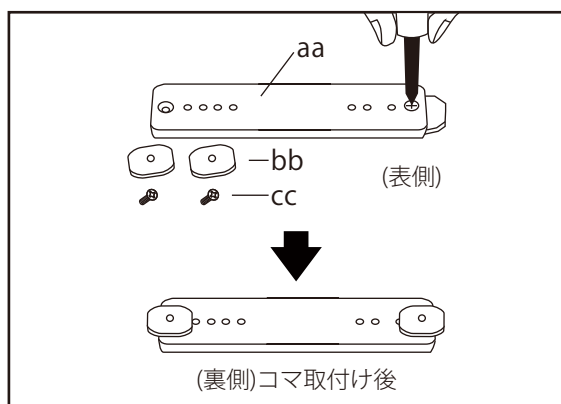
この作業は、最後にこの部分を締めつけて固定をする為、余裕がないと取外しが困難になるため行います。

右図のように床受盤を回し、高さ調節ボルトの上側の部分を出してください。▼高さ調節ボルト目安テープ (jj) の 1.5cm 幅の部分



【2. アタッチメントを突っ張りポールに設置するためのコマをセットする】

▼アタッチメント取付け用皿ネジ (cc) を使用して▼アタッチメント (aa) にコマ (bb) を2点取付けてください。その際、アタッチメントの裏表とネジの取付け穴位置に注意してください。コマを取付ける2点のネジ穴が窪んでいる方が表です。また、次の作業でポールに取付ける為、コマとアタッチメントの間は隙間を空けてください。

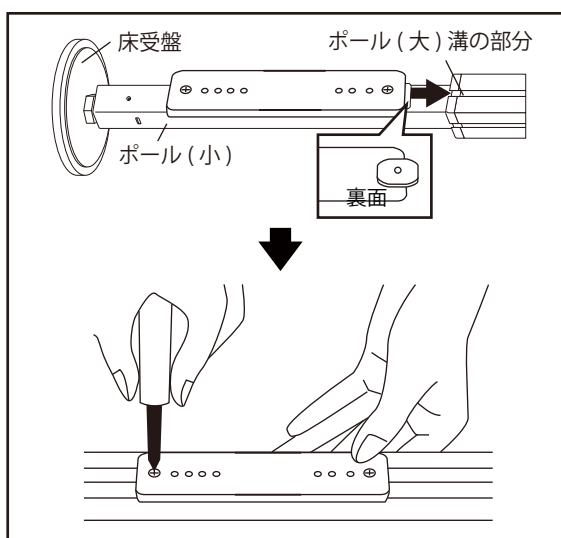


【3. 突っ張りポールにアタッチメントをスライドさせて仮止めする】

右図のように▼突っ張りポール (gg) を平らな場所に寝かせ、ポール (小) を30cm程伸ばし前の説明で取付けた▼コマ (bb) をポール (大) の溝の部分にスライドさせるように入れてください。ポールを立てた際に落ちないように、適当な部分で仮止めを行ってください。

1本目のアタッチメントを仮止めした後、2本目も1本目と同じ高さに合わせて仮止めしてください。

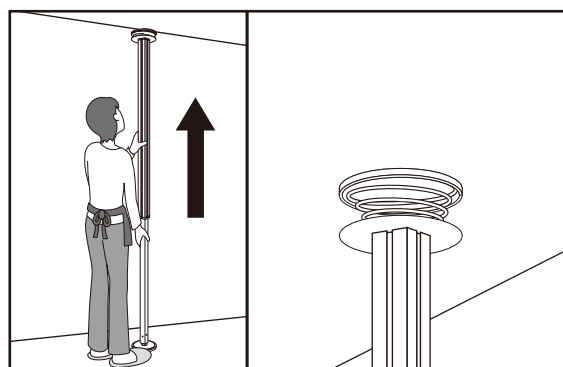
※コマを縦向きにしないと入らないのでご注意ください。



ポール設置方法【エアーキャップを使用せずに設置する場合】②

【4. ポールを仮止めする】

ポールを上へ伸ばし、取付けを行いたい場所で軽くバネが縮む程度に仮止めをします。あまり強く取付けないよう注意してください。2本目の仮止め作業を行う前に、【5】の作業を行って下さい。



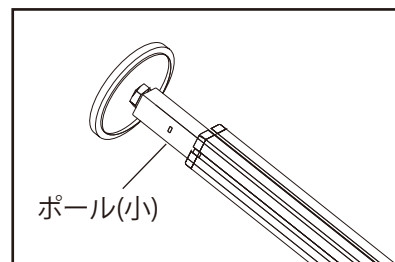
！ 注意

- 天井に梁が通っている所または鉄筋コンクリートなど天井下地や補強のある場所に取り付けてください。それ以外の場所では、天井が浮いたり破損する恐れがございますので十分に注意し取付けを行ってください。
- ボードやベニヤ等、弱い所や滑りやすい所への取付けは本体が外れたり破損する恐れがありますのでおやめください。
- 畳や絨毯の上に設置した場合、外した際に設置跡が残ります。また、長期使用によってフローリングにも跡が残る場合がございます。

※ポール（小）の部分が出すぎている場合、床受盤を上に向ける事で中にしまうことができます。（右図）

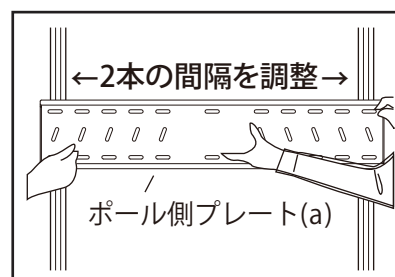
下を向けたまま（通常の状態）だとロックがかかり短くなりませんのでご注意ください。

詳しい手順は P.12「突っ張りポール伸縮調節方法」をご覧ください。



【5. 2本の間隔を調整する】

2本目の仮止め作業を行う前に、金具本体部品の▼ポール側プレート(a)を使用して取付け時にネジ穴の位置が左右対称になるように間隔を調整してください。特に設置場所の制限などの理由がない限り、ポール側プレートの両端付近のネジ穴を使用してください。ある程度正確な位置が確認できたら、目印を付けます。

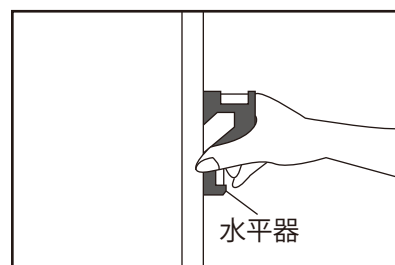


【6. ポールの水平・床受盤の平行をとる】

仮止めを行った後、全体を確認しながらポールの水平をとってください。右図のように水平器があると便利です。

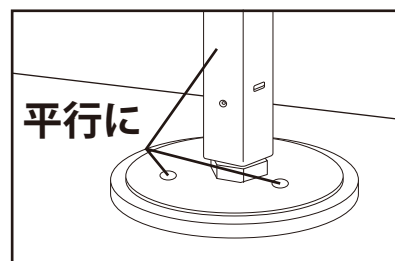
！ 注意

- 突っ張りポールには伸縮防止機能がついていますが、ポール（大）部分を持つとポールが伸びてしまいますので、水平をとる場合や位置を調節する際は必ずポール（小）の部分を持って移動するようにしてください。



ポールの水平がとれたら、ポールの面と床受盤の穴2点が平行になるように調節してください。平行ではない場合、最後に固定する回転止めがしっかりとまらない場合がございます。

※1本目、2本目とも同じ方向（正面）にアタッチメント取付け面が向くようにしてください。



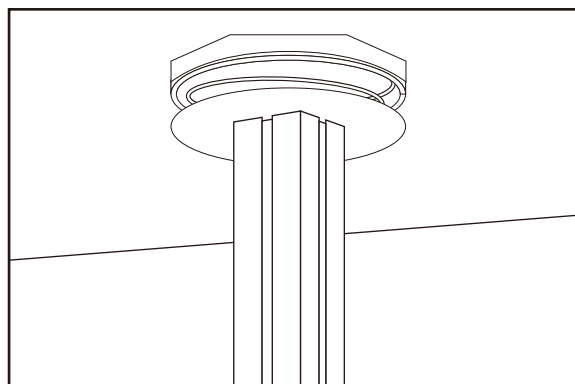
ポール設置方法【エアーキャップを使用せずに設置する場合】③

【7. 天井面を固定する】

前の説明で行った作業をもう一度確認し、2本の間隔に関しても問題が無ければ2本目も設置します。
右図の様に少しバネが見える程度まで天井に押しつけてください。

！ 注意

- 必要以上に力を加えると天井が破損する原因になりますので注意してください。

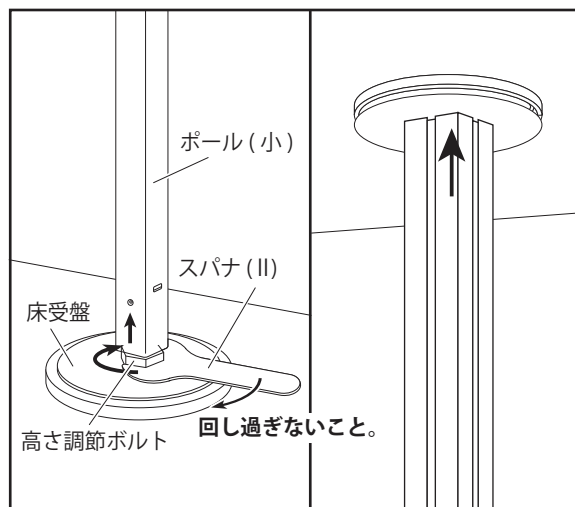


【8. 床面を固定する】

十分に押し込んだら、▼スパナ (II) で高さ調節ボルトを回して固定して下さい。右回りでポールが上に伸びます。
右図の様にバネがほとんど見えなくなったら固定されています。

！ 注意

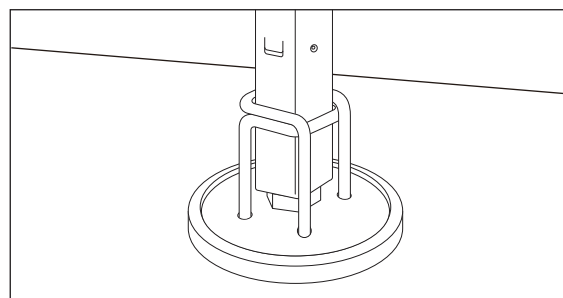
- 高さ調節ボルトをスパナで回し過ぎると天井や床が破損したりボルトがなめてしまう可能性があります。バネが天井受盤と天井受カバーの間に隠れる程度(2～3回転)で止めてください。
- 取付け後は、手で軽く引っ張りしっかり固定されていることを必ず確認してください。



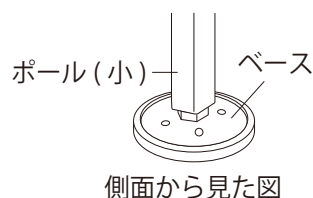
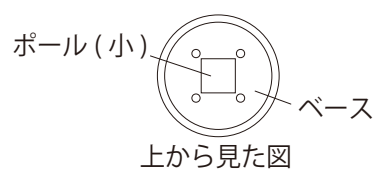
【9. 回転止めを取付ける】

最後に、▼回転止め (kk) を取付けてポールが回転するのを防ぎます。

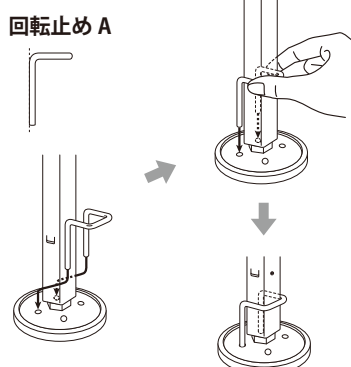
※この付属品は製品本体の回転を抑止するものであって完全に回転は止められませんのでご注意ください。



①ベースの穴4か所がポール(小)の角になる位置でポールを取付けします。

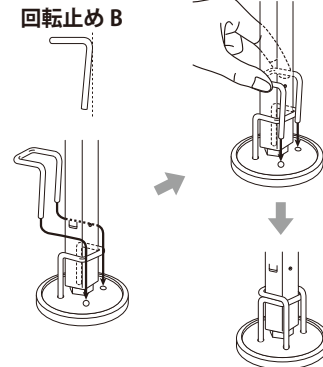


②回転止め A をポール (小) の手前から差込んでベースの穴に入れます。



※しっかり奥まで入っているか確認します。

③回転止め B をポール (小) の手前から差込んでベースの穴に入れます。



※しっかり奥まで入っているか確認します。

突っ張りポール伸縮調整方法

この項では「突っ張りポールを伸ばしすぎた場合」「ポールが外れてしまった場合」「ポール取外し方法」の手順を記載しています。不要な場合は各金具の設置方法に進んでください。

突っ張りポールを伸ばしすぎた場合の調整方法

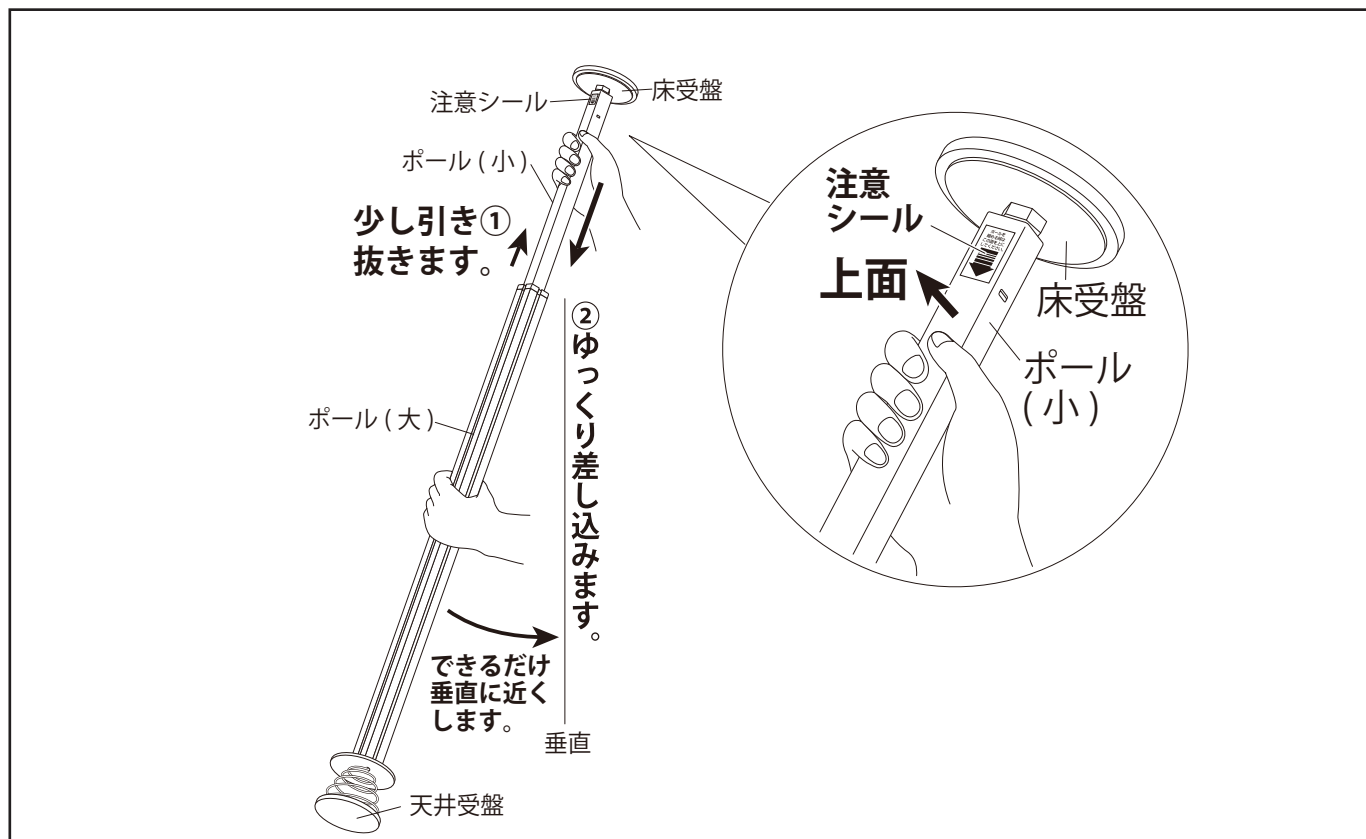
下図のように、ポール（大）の天井受盤側を下にさげ、ポール（小）の床受盤付近の注意シール面を上面に向け、

①ポール（小）を手で握り軽く引き抜く（出す）と内部ロックが解除されますので、

②手で握ったままゆっくりと差し込んで（短くして）下さい。

※差し込むスピードが速いとロックがかかってしまいます。その場合は①をもう一度行ってください。

※途中で止まってしまう場合は、ポール（大）側をできるだけ垂直になるようにして（上下が逆の状態）、①②を何度か繰り返して下さい。



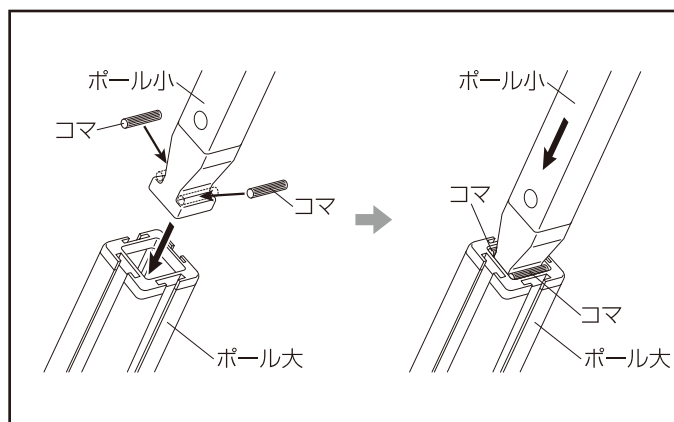
注意

- ポール（小）から手を離して急激に差し込む（落とし込む）とポール（小）から床受盤が外れてポール（大）の中に入り込むことがあります。必ず手で握った状態のまま長さ（高さ）の調節をしてください。

ポールが外れてしまった場合の調整方法

- ポール（大）の天井受盤側をできるだけ下に下げて（垂直に近く）、ポール（大）にポール（小）の先端を少し差し込み、ポール（小）の先端近くに抜け落ちたコマ2個を横にして1個づつ入れた後、ゆっくりと差し込んでください。

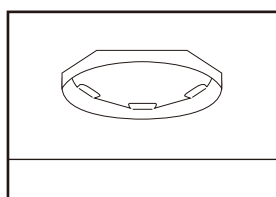
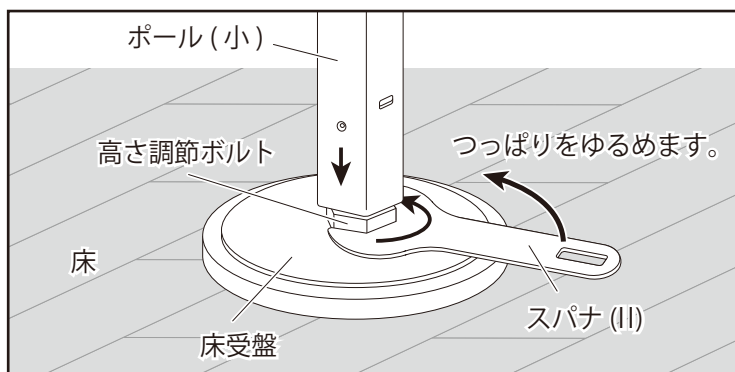
なお、途中で止まった場合は、上記の「突っ張りポールを伸ばしすぎた場合の調整方法」を参考に作業を行ってください。



突っ張りポール取外し方法

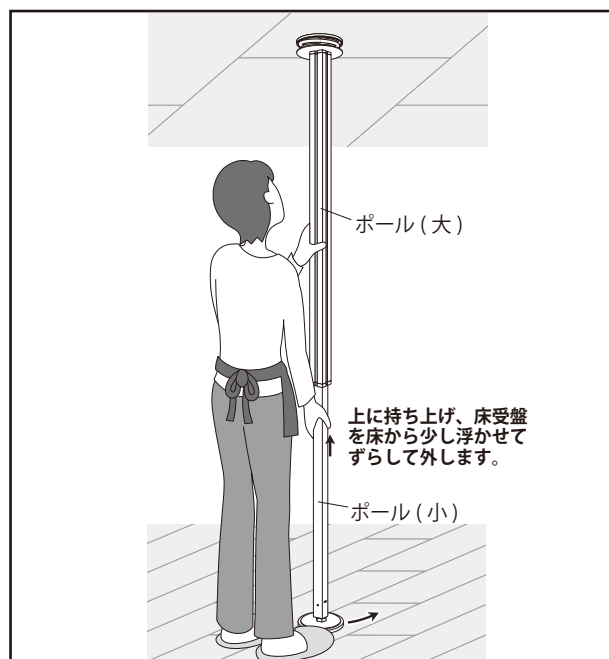
突っ張りポール取外し方法（エアーキャップを使用している場合）

- 下図左のように、本体下部の床受盤についている高さ調節ボルトを付属品の▼スパナ (II) で左に回してつっぱりを緩めてください。
- 下図右のように、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に少し持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。浮かす際に、特殊面ファスナーの床受盤裏側と床側をしっかりと離して下さい。
- ずらしてポールを外す際、エアーキャップが天井受盤から離れ天井に取付いたまま取れない場合があります。その場合はエアーキャップのみ天井から取外して下さい。取外す作業時、安全面には十分注意して作業を行ってください。
- エアーキャップを使用しない場合は、出荷時の梱包のまま保管してください。エアーキャップの鋭利部に付いた梱包材は捨てずに、保管する際にご使用ください。



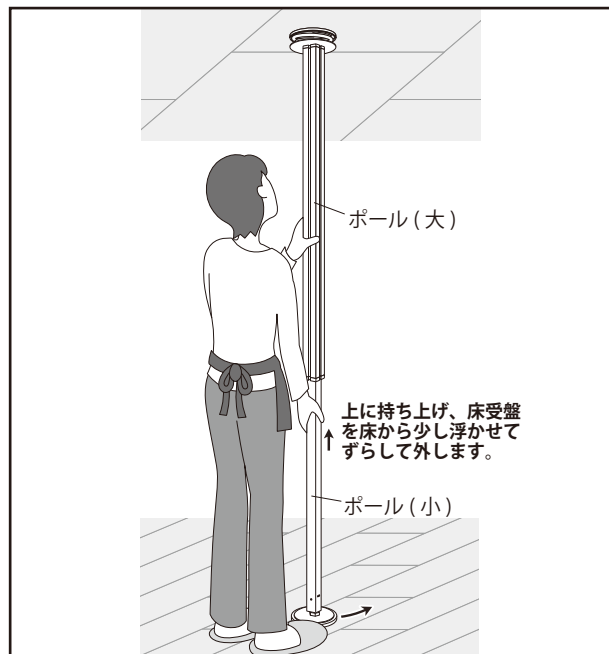
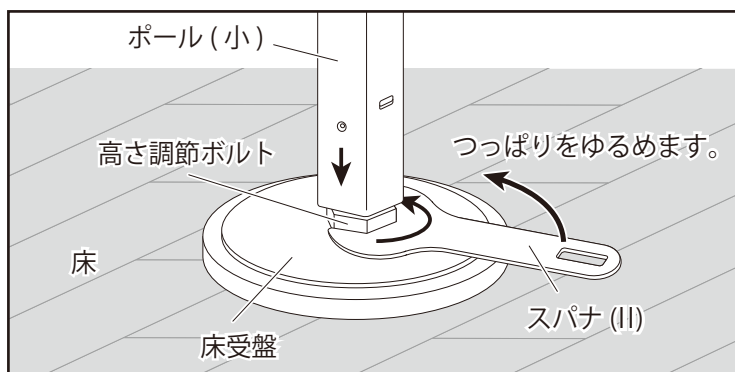
警告

- エアーキャップが落下し、大きな怪我をする危険性がありますので充分に注意して下さい。



突っ張りポール取外し方法（エアーキャップを使用していない場合）

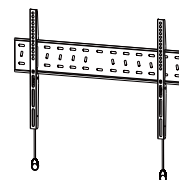
- 基本的な取外し方法は、上記のエアーキャップを使用している場合と同じ手順になります。
- 下図左のように、本体下部の床受盤についている高さ調節ボルトを付属品の▼スパナ (II) で左に回してつっぱりを緩めてください。
- 下図右のように、ポール（大）とポール（小）を両手で持ち、上に少し持ち上げて床受盤を床から少し浮かせてずらし、ポールを外してください。



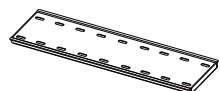
AP-141 設置方法①

AP-141 基本情報

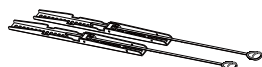
- テレビの目安インチ数：37～65インチ
- テレビ耐荷重：35kg まで



【AP-141】金具本体・テレビに取付ける部品



a. ポール側プレート
…1 個



b. テレビ側ブラケット
…2 個



c. M4×12 ボルト
…4 個



d. M5×12 ボルト
…4 個



e. M6×12 ボルト
…4 個



f. M8×16 ボルト
…4 個



g. M4×30 ボルト
…4 個



h. M5×30 ボルト
…4 個



i. M6×35 ボルト
…4 個



j. M8×40 ボルト
…4 個



k. M4 ロック
ワッシャー…4 個



l. M5 ロック
ワッシャー…4 個



m. M6 ロック
ワッシャー…4 個



n. M8 ロック
ワッシャー…4 個



o. M4/M5 スペーサー
…4 個



p. M6/M8 スペーサー
…4 個



q. M4/M5 ワッシャー
(厚さ1mm)…8 個



r. M6/M8 ワッシャー
…4 個

※多くのテレビに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

以下は壁掛け用部品のため使用しません。



M5×45 タッピングビス…6 個



M5×30 タッピングビス…8 個



M5 タッピングビス用ワッシャー (厚さ2mm) …8 個

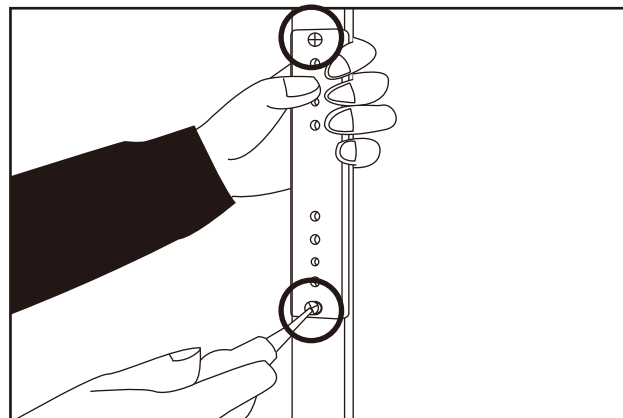
Step1. アタッチメントの固定



テレビの設置目安位置について

テレビの設置高さは低い程、耐震性が向上します。原則は本商品の上下中心線より下側への設置を推奨いたしますが、中心線より上へ設置する場合は耐震性が落ちる事を考慮の上、お客様責任のもと設置いただくようお願い申し上げます。

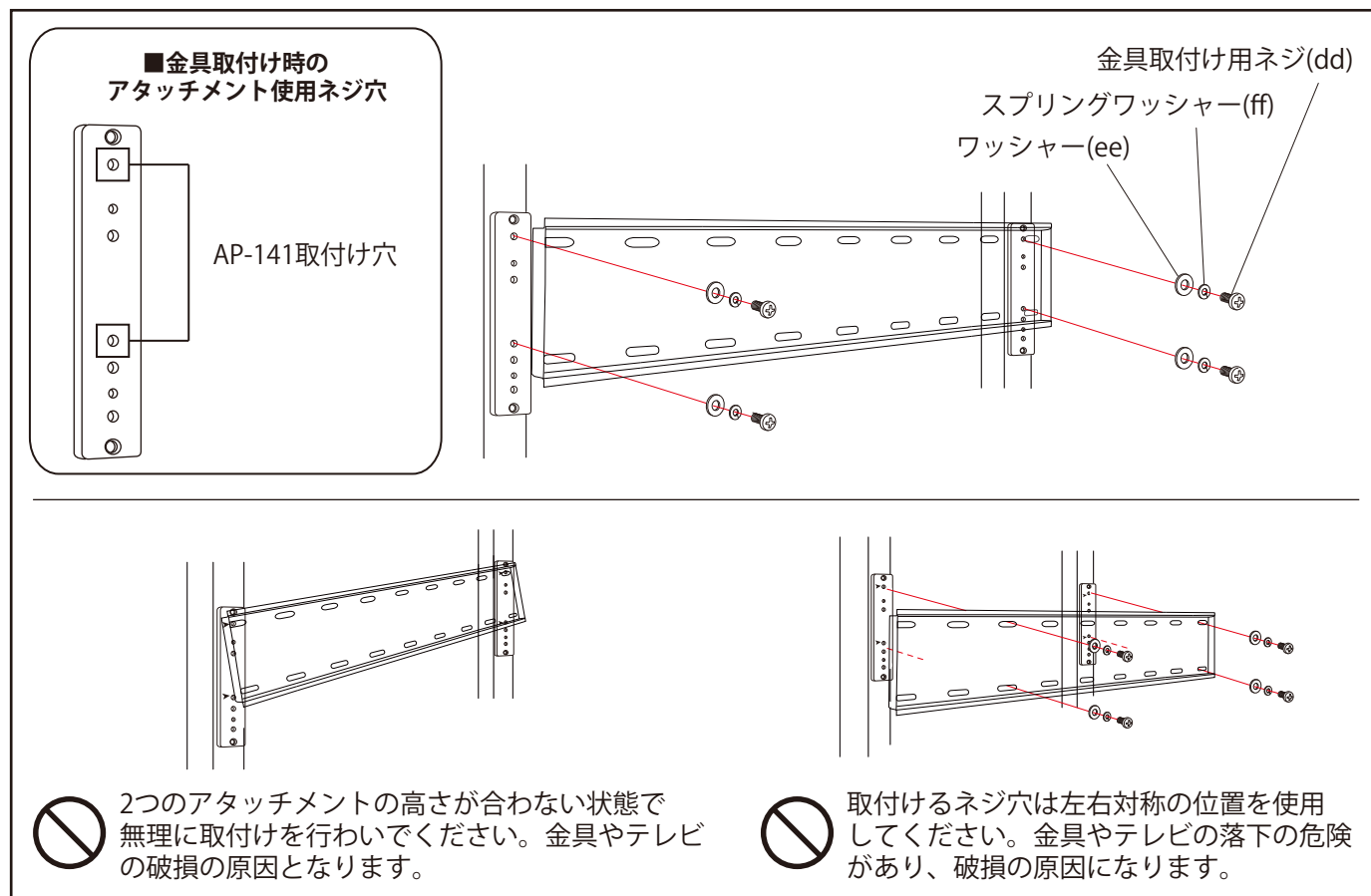
- ポール設置時に仮止めしたアタッチメントを、テレビを取付けたい位置に調整し、2点ともしっかりと締め付け固定して下さい。
- その際2つのアタッチメントの高さが同じになるようポール側プレートや水平器等で調節してください。あらかじめメジャーで高さを合わせておくと簡単です。



AP-141 設置方法②

Step2. ポール側プレートの固定

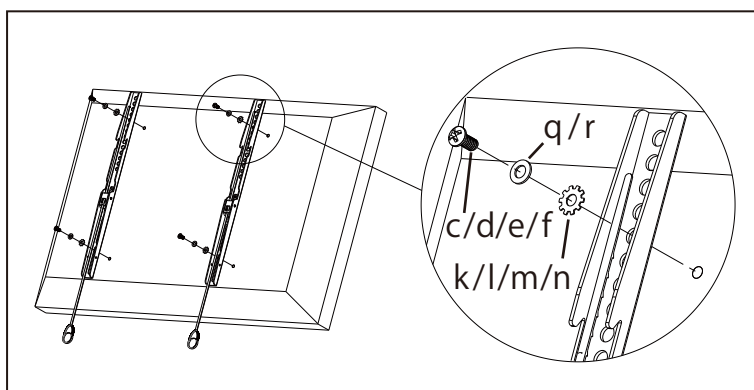
- 下図を参考に、アタッチメントと▼ポール側プレート (a) を取付けてください。取付ける穴を間違えないよう注意して下さい。この時、取付けるポール側プレートのネジ穴は左右対象のネジ穴を使用してください。



Step3. テレビにテレビ側金具を取付ける

テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

- 下図を参考に、テレビ背面の金具取付けネジ穴に▼テレビ側ブラケット(b) を▼M4/M5ワッシャー(q ※4枚のみ使用) / M6/M8ワッシャー(r)、▼ボルト(c/d/e/f)、▼ロックワッシャー(k/l/m/n)を使用して取付けます。
[→Step4 へ進む]

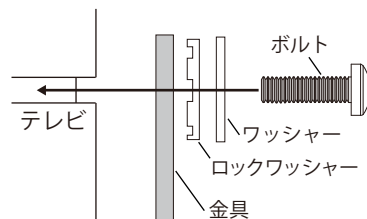


⚠ 注意

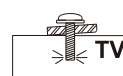


付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序

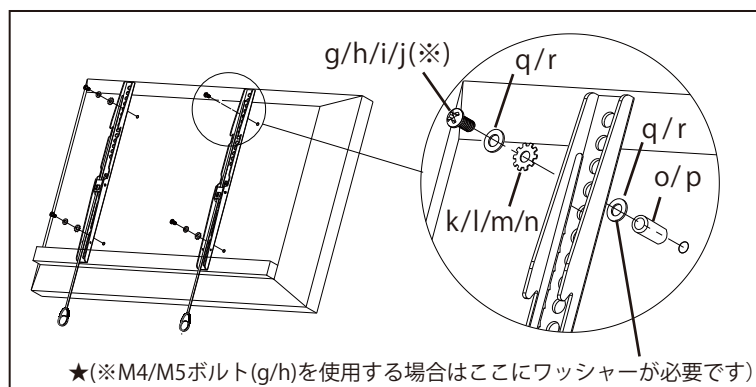


最適なサイズのボルトを使用



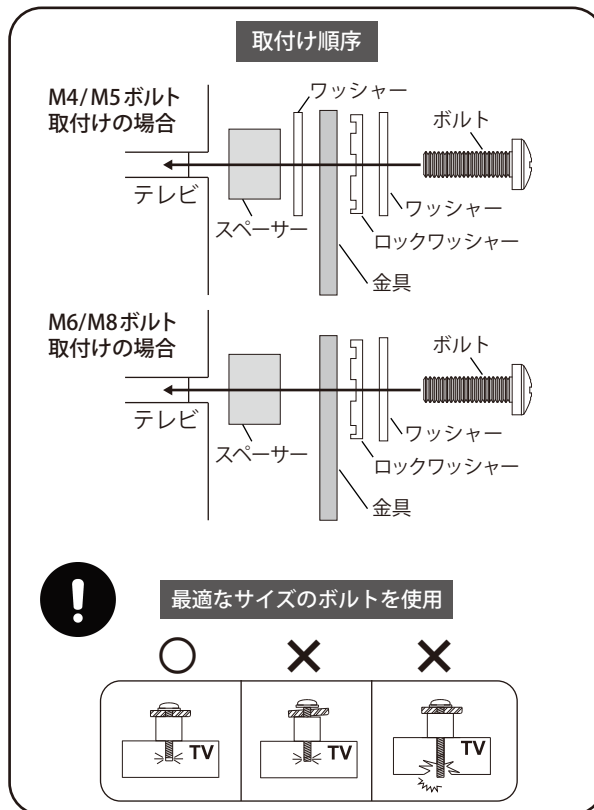
テレビの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

- テレビに段差がある場合やテレビ側金具取付け時に配線等が干渉する場合は、▼スペーサーを使用して取付けます。下図を参考に、テレビ背面の金具取付けネジ穴に▼テレビ側ブラケット(b)を▼M4/M5スペーサー(o)/M6/M8スペーサー(p)、▼M4/M5ワッシャー(q)/M6/M8ワッシャー(r)、▼M4/M5/M6/M8ボルト(g/h/i/j)、▼M4/M5/M6/M8ロックワッシャー(k/l/m/n)を使用して取付けます。[→Step4へ進む]



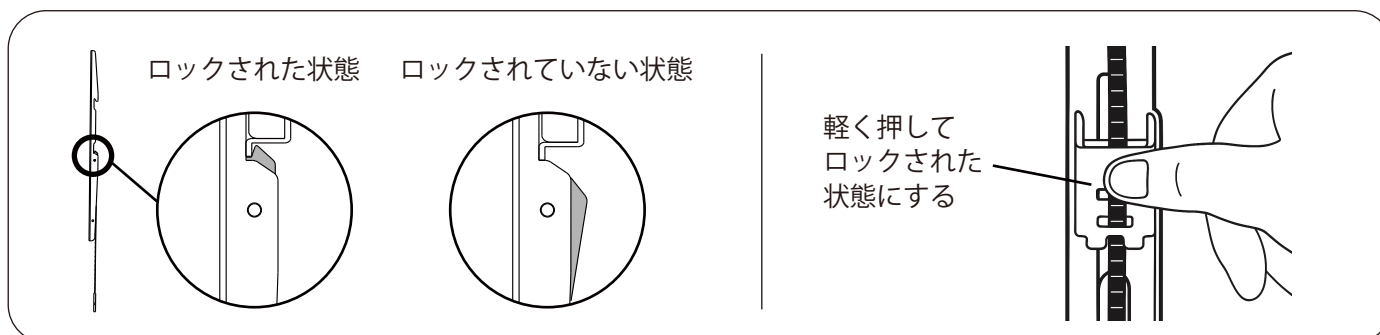
注意

- ⊘ 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。
- ⊘ スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。
- ⊘ 無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。



Step4. テレビ取付け前の事前準備

- 下図を参考に、テレビ側ブラケット (b) のロック機構が「ロックされた状態」になっているかを必ず確認してください。もしロックされていない場合は、ロック機構の中央部分を軽く押してください。「カチッ」という音が聞こえれば、正しくロックされた状態になります。



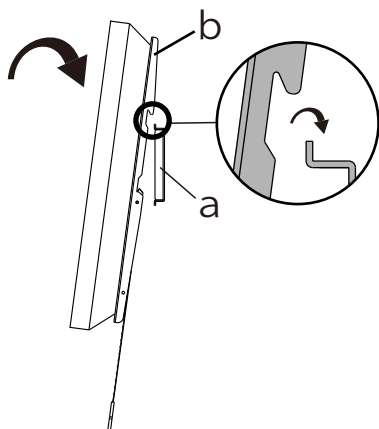
注意

テレビを壁側プレートに引っ掛ける前にロックされた状態になっていないと、ロック機構が正常に作動せず、テレビを固定できません。

Step5. ポール側プレートにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する

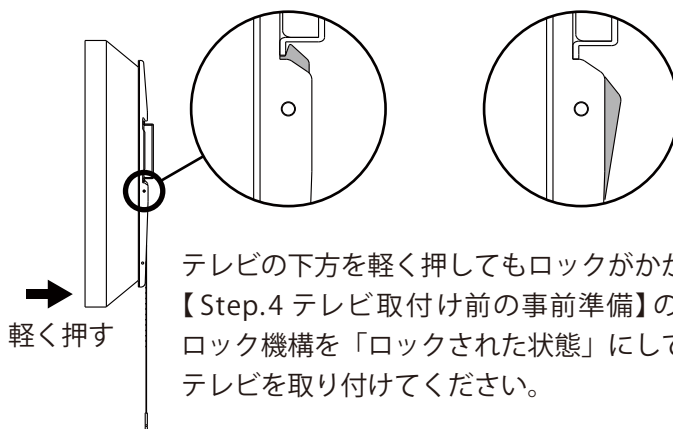
- 下図を参考に、テレビ側ブラケット (b) の引っ掛ける部分を、ポール側プレート (a) の上部のくぼみへ上から差し込むように引っ掛けます。上部がしっかりと引っかかっているのを確認できたら、テレビの下部を壁側プレートに合わせるように取付けます。テレビの重みで「カチッ」というロック音が聞こえれば固定完了です。もし音が聞こえない、またはテレビが動いてしまう場合は、テレビの下方を軽く押して確実にロックしてください。

ブラケットをポール側プレートの
上から引っ掛ける



「カチッ」と音がしない場合はテレビ下方を軽く押してロックする。

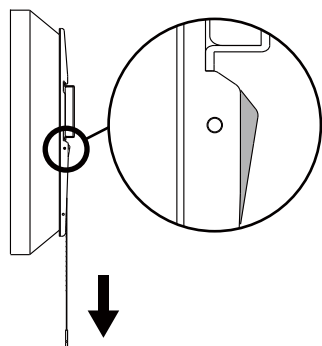
ロックされた状態 ロックされていない状態



テレビの下方を軽く押してもロックがかからない場合は、
【Step.4 テレビ取付け前の事前準備】の項目を参照し、
ロック機構を「ロックされた状態」にしてから再度
テレビを取り付けてください。

- テレビを取り外す際は、ブラケットの下部にあるケーブルを引っ張ると、ロックが解除されます。ケーブルを引っ張ったまま、テレビを下から持ち上げるようにして外してください。
- テレビをもう一度取り付ける際には、【Step.4 テレビ取付け前の事前準備】を参考に、「ロックされた状態」に戻してからお取付けください。

テレビを外す際はケーブルを引っ張って
ロックを解除する



ケーブルは裏に隠すと綺麗です

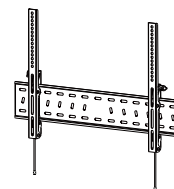


ある程度の重さがあるテレビをかけると、その重さによりロックが解除できなくなる可能性があります。その場合、テレビを1人が持ち上げ荷重を軽くした状態でロックを外すようにしてください。

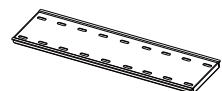
AP-148 設置方法①

AP-148 基本情報

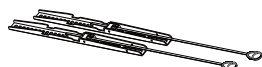
- テレビの目安インチ数：37～65インチ
- テレビ耐荷重：35kg まで



【AP-148】金具本体・テレビに取付ける部品



a. ポール側プレート
…1 個



b. テレビ側ブラケット
…2 個



c. M4×12 ボルト
…4 個



d. M5×12 ボルト
…4 個



e. M6×12 ボルト
…4 個



f. M8×16 ボルト
…4 個



g. M4×30 ボルト
…4 個



h. M5×30 ボルト
…4 個



i. M6×35 ボルト
…4 個



j. M8×40 ボルト
…4 個



k. M4 ロック
ワッシャー…4 個



l. M5 ロック
ワッシャー…4 個



m. M6 ロック
ワッシャー…4 個



n. M8 ロック
ワッシャー…4 個



o. M4/M5 スペーサー
…4 個



p. M6/M8 スペーサー
…4 個



q. M4/M5 ワッシャー
(厚さ1mm)…8 個



r. M6/M8 ワッシャー
…4 個

※多くのテレビに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

以下は壁掛け用部品のため使用しません。



M5×45 タッピングビス…6 個



M5×30 タッピングビス…8 個



M5 タッピングビス用ワッシャー (厚さ2mm) …8 個

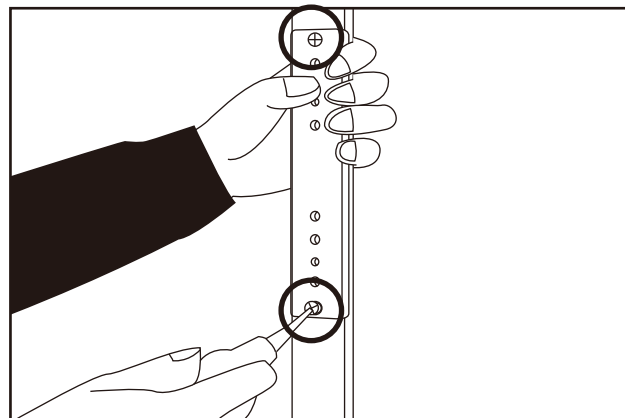
Step1. アタッチメントの固定



テレビの設置目安位置について

テレビの設置高さは低い程、耐震性が向上します。原則は本商品の上下中心線より下側への設置を推奨いたしますが、中心線より上へ設置する場合は耐震性が落ちる事を考慮の上、お客様責任のもと設置いただくようお願い申し上げます。

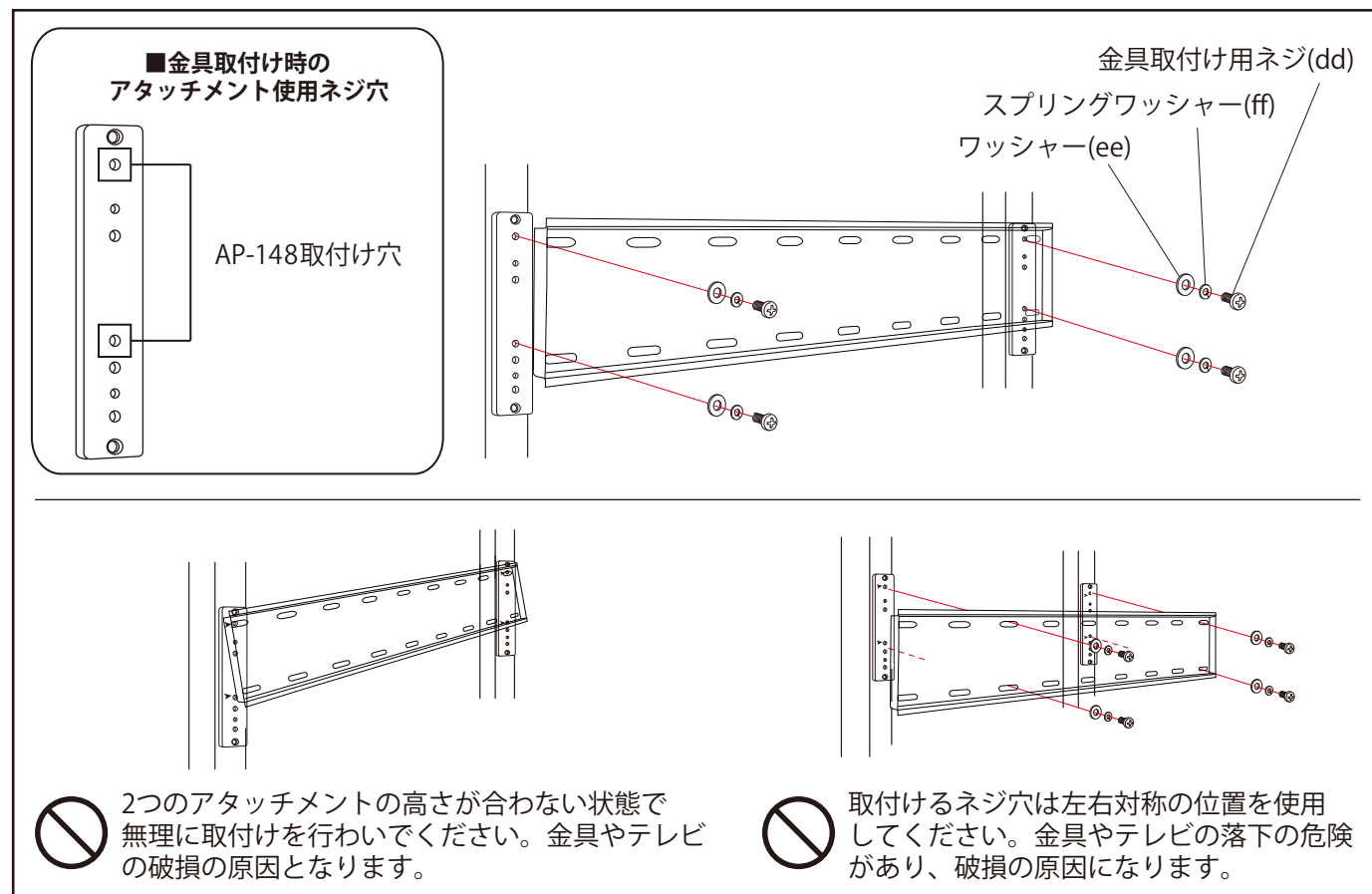
- ポール設置時に仮止めしたアタッチメントを、テレビを取付けたい位置に調整し、2点ともしっかりと締め付け固定して下さい。
- その際2つのアタッチメントの高さが同じになるようポール側プレートや水平器等で調節してください。あらかじめメジャーで高さを合わせておくと簡単です。



AP-148 設置方法②

Step2. ポール側プレートの固定

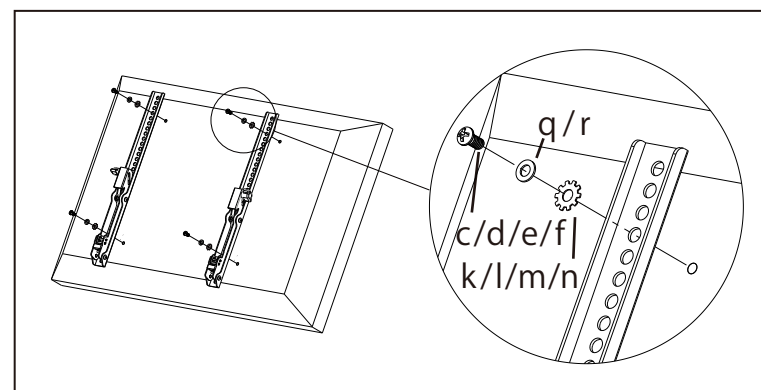
- 下図を参考に、アタッチメントと▼ポール側プレート (a) を取付けてください。取付ける穴を間違えないよう注意して下さい。この時、取付けるポール側プレートのネジ穴は左右対象のネジ穴を使用してください。



Step3. テレビにテレビ側金具を取付ける

テレビの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

- 下図を参考に、テレビ背面の金具取付けネジ穴に▼テレビ側ブラケット(b) を▼M4/M5ワッシャー(q ※4枚のみ使用) / M6/M8ワッシャー(r)、▼ボルト(c/d/e/f)、▼ロックワッシャー(k/l/m/n)を使用して取付けます。
[→Step4 へ進む]

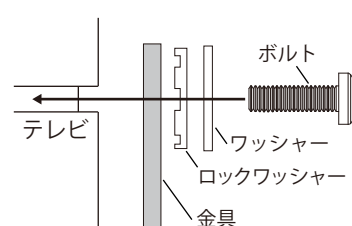


⚠ 注意

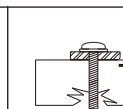
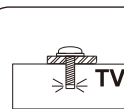


付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

取付け順序

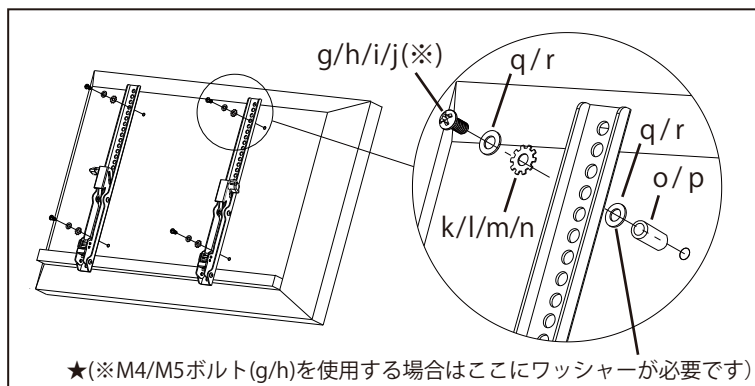


最適なサイズのボルトを使用



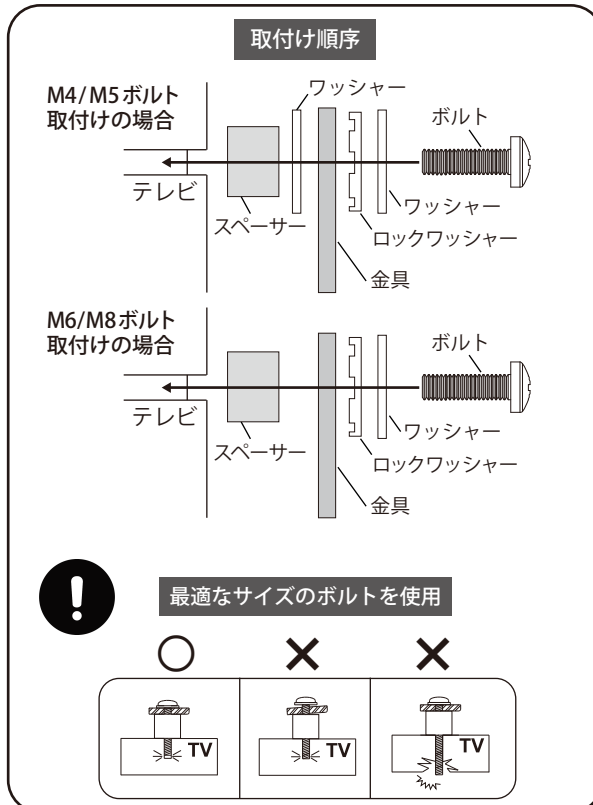
テレビの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

- テレビに段差がある場合やテレビ側金具取付け時に配線等が干渉する場合は、▼スペーサーを使用して取付けます。下図を参考に、テレビ背面の金具取付けネジ穴に▼テレビ側ブラケット(b)を▼M4/M5スペーサー(o)/M6/M8スペーサー(p)、▼M4/M5ワッシャー(q)/M6/M8ワッシャー(r)、▼M4/M5/M6/M8ボルト(g/h/i/j)、▼M4/M5/M6/M8ロックワッシャー(k/l/m/n)を使用して取付けます。[→Step4 へ進む]



！ 注意

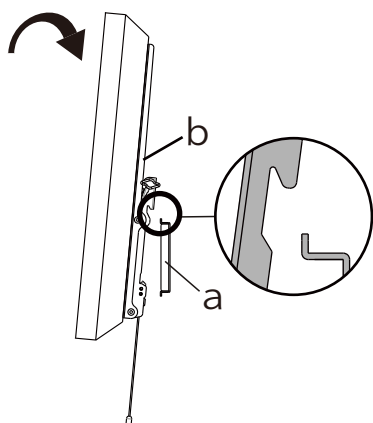
- ❌ 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。
- ❌ スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。
- ❌ 無理に取付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。



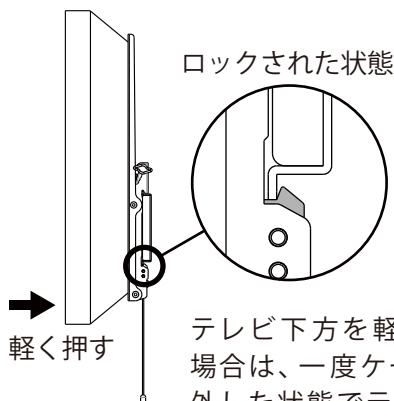
Step4. ポール側プレートにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する

- 下図を参考に、▼テレビ側ブラケット(b)の引っ掛ける部分を▼ポール側プレート(a)の上部のくぼみへ上から引っ掛けます。上部がしっかりと引っ掛かっているのを確認できたら、下の部分を取付けます。その際テレビの重みで「カチッ」というロック音が聞こえれば固定されていますが、聞こえない場合や動いてしまう場合はテレビ下方を軽く押してしっかりとロックしてください。
- テレビを取り外す際は、下のケーブルを引っ張るとロックが解除されるので、ケーブルを引っ張ったままテレビを下から外してください。

ブラケットをポール側プレートの上から引っ掛ける

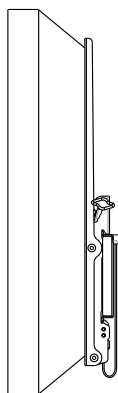


「カチッ」と音がしない場合はテレビ下方を軽く押してロックする。

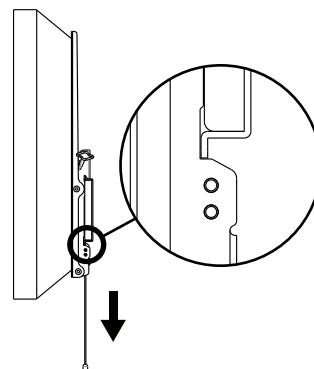


テレビ下方を軽く押してもロックがかからない場合は、一度ケーブルを下に引っ張ってロックを外した状態でテレビを壁側に押し込み、ポール側プレート下部のくぼみにブラケットが入った事を確認しケーブルを離してください。

ケーブルは裏に隠すと綺麗です



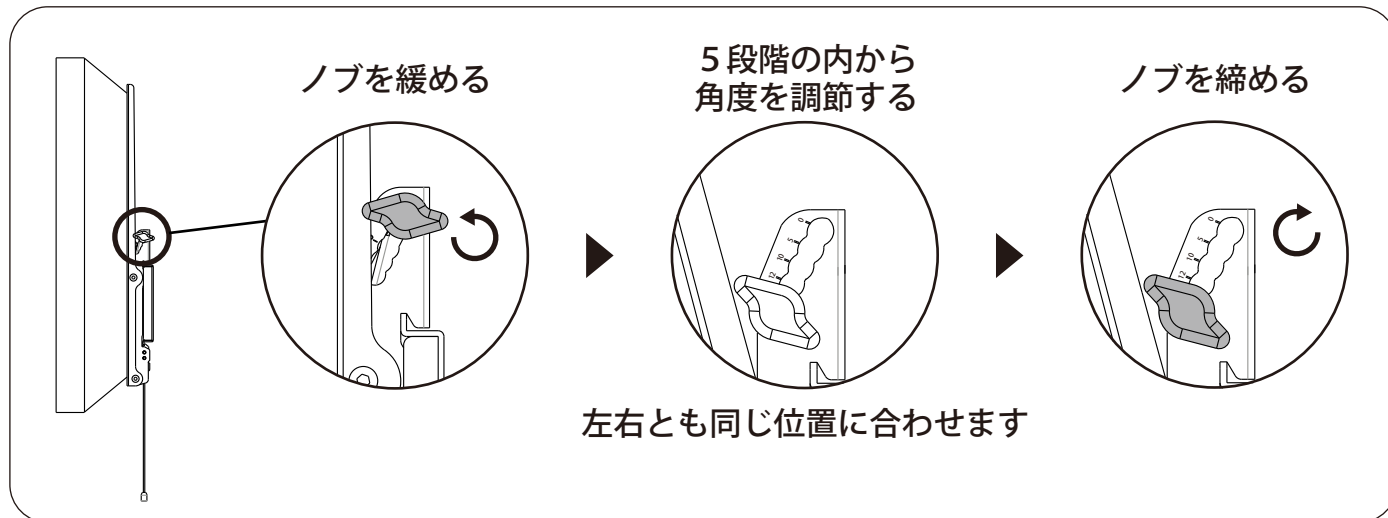
テレビを外す際はケーブルを引っ張って
ロックを解除する



ある程度の重さがあるテレビをかけると、その重さによりロックが解除できなくなる可能性があります。その場合、テレビを1人が持ち上げ荷重を軽くした状態でロックを外すようにしてください。

Step5. 角度を調節する

- 角度は下向きに0度/5度/10度/12度/15度の5段階で調節が可能です。
- テレビ側ブラケットの調節ノブを緩めて角度を調節し、再度しっかりとノブを締めて固定してください。また、調節する際は左右のテレビ側ブラケットを同じ角度に合わせてください。



最終確認

- ✓ 設置後に突っ張りボールが不安定になったり、テレビがぐらつく、またはアタッチメントがずれ落ちるなどの症状が見られる場合は、一度テレビを取り外し、本説明書の各項目を最初から確認し、各部が確実に固定されているかご確認ください。
使用中に少しでもガタつきや違和感を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。
- ✓ 各取付け部分およびボルト、ネジ、ナットに緩みやガタつきがないかを必ずご確認ください。
万が一、緩みが確認された場合は、必ず確実に増し締めを行ってください。
少しでもガタつきや違和感を感じた際には、ただちに使用および取付けを中止してください。
また、こうした確認作業は定期的に（目安として3カ月～半年に1回程度）実施し、安全にご使用いただける状態であることを確認してください。
- ✓ 経年劣化による部品のゆりみや強度低下により、落下などの事故が発生しないよう、十分ご注意のうえで使用ください。

免責事項

- 本取扱説明書に記載されている警告・注意事項や禁止事項を遵守しない不適切な使用、取り付け不備、お客様による商品の改造などによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失、壁面のネジ穴跡や変色など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp